

令和8年度 子どもさわやか賞 受賞団体の活動紹介



大阪府立渋谷高等学校（池田市）

地域の催し（商業祭・フェスタ・高齢者向けの福祉のつどい）の運営手伝いと音楽クラブとしての出演。また、中学校を利用した子ども食堂の運営協力等を校内の複数ボランティアグループで長期間にわたっておこなっている。

箕面市立第四中学校 ONE PIECE（箕面市）

他のクラブ活動との兼任も可能で活動しており、多方面にわたる内容を自分の得意分野で参加することで力が発揮でき、周りの大人たちや社会に認められることで、自己肯定感が増し将来の人間形成も楽しみです。

河内長野市立千代田中学校（河内長野市）

R4年度から地域を盛り上げる活動として、千代田公民館とのコラボ企画を様々な形で取り組んできた。R4は公民館の一日開放イベントに、R5は公民館の自習室を居心地よくするための企画、R6は美術部も参加し、公民館のカラフルキャンパスなどを実施。R7は、地域の人と公民館、中学生をつなぐためのコミック・絵・音楽・趣味などで交流できるイベントを開催。学校内での活動を地域に広げることとした。

茨木市立天王小学校 美化委員会（茨木市）

美化委員会5・6年児童から「学校周辺をきれいにしたい」との提案があった。子どもの安全確保の観点で、地域・保護者・近隣大学ボランティアサークルの協力のもと、委員会活動の時間に学校周辺の草むしりを行った。取組後、子どもたちが地域・大学生と清掃活動を行う教育的意義について賛同の声が多数あり、2回目の学校周辺の溝掃除は、参加者が大幅に増えた。子どもたちのニーズは校区内の阪急・モノレール南茨木駅周辺の清掃まで広がりを見せており、現在、美化委員会の児童と地域が実現に向けて検討をすすめている。

彩和学園富田林市立 小金台小学校 富田林市立 明治池中学校 （富田林市）

富田林市では、小学校区を単位として地域住民や福祉活動団体、福祉専門職、教育機関、医療機関、社協、行政職員等が参加し、地域が主体となって地域課題について話し合う「校区交流会議」を開催している。公立の小中一貫校である、彩和学園を校区とする小金台校区では、校区の医療機関の医師の監修のもと、地域にロコモーショントレーニングを普及していくオリジナル動画を作成した。この動画制作にあたり、彩和学園の小中学生は、福祉共育としてのフレイル予防学習、ロゴマーク作成や動画への声の吹き込み等、制作過程の様々な場面において主体的に地域住民と協働し、動画完成後には子ども達を介しながら、地域全体、さらには市全体への普及が進められている。



柏原市立堅下南中学校（柏原市）

校区内 125 件の高齢者宅を地域の福祉委員の方と共に訪問し交流する。その際、手作りカレンダー、鉢花、手紙を添えてプレゼントするとともに、近況報告や、地域の見守り活動に対するお礼を伝える機会とする。

岸和田市立修斉小学校（岸和田市）

- ・ 赤い羽根募金活動
- ・ パンダバンブーESD 環境教育
- ・ 独居老人宅への安否確認と年末あいさつ運動（全校生徒の作成した年賀カードを校区内約 150 件の独居老人宅へ訪問してお話をします。毎年とても楽しみに待っています。）
- ・ 老人会との交流（毎週水曜）

小瀬子ども会（貝塚市）

町営墓地（270 基）の清掃、草刈を毎年盆前の 8 月第 1 日曜日に 40 年以上にわたり行っている

社会福祉法人 希望の杜 おそうじクラブ（児童部会）

希望の杜の小学生女子グループでは、約12年前から『おそうじクラブ』というクラブ活動をしています。自分の物は勿論、他者の物も大事にすること、備品など全体の物も大事にすることなどを目的に始めました。クラブへの入部は子どもの意思に任せていますが、現在8名全員が入部しています。内容は、活動名の通り「掃除」をすることです。普段使用している談話室、廊下、階段、風呂場、トイレ、食堂など、その時 特に汚れが気になる箇所に絞って掃除をします。大人がフォローはしますが、全体の流れは基本的に子ども主導で行っています。

和泉市立青葉はつが野小学校（和泉市）

青葉はつが野小学校校区では、長年にわたり、地域の方や保護者が登校時の見守りを行っており、近年では、その際にゴミ拾いをされる姿が日常的に見られるようになってきました。

「なぜゴミ拾いをするのか聞いてみたい」という児童の声を受け、学校に地域の方を招いて活動への思いを聞く機会を設けました。

登校時には、約二年間にわたり、親子でゴミを拾う姿や、ナイロン袋や割りばし、トングをもって自ら進んでゴミ拾いを行う子どもたちも現れました。

いずれの行動も、「誰かに言われたから」ではなく、自分で考え、判断し、行動している点が大きな特徴です。

